

ごみの減量化施策の見直し（案）について

萩市では、市の基本ビジョンに掲げる将来像である「暮らしの豊かさを実感できるまち」を実現するため、「萩市一般廃棄物処理基本計画」を策定し、その計画に沿って、市民・事業者・行政の連携のもと、環境美化活動、ごみの減量化や再資源化等に取り組んでいます。

特に、平成5年度（萩地域）には、一定枚数のごみ袋を無料配布する施策を開始し、萩市独自の施策としてごみの減量化を進めてきました。また、同時期にごみ袋指定制度を開始し、分別意識の向上を図ってきました。これらの施策は、ごみの減量化に一定の効果がありましたが、近年、萩市の1人1日当たりのごみの排出量が全国・山口県平均よりも多いこと、また、社会情勢の変化により様々な問題が生じています。

そこで、これらの状況を踏まえ、ごみの減量という課題を解決するため、これまでの施策を見直し、時代の流れに沿った新たなごみの減量化施策を検討します。

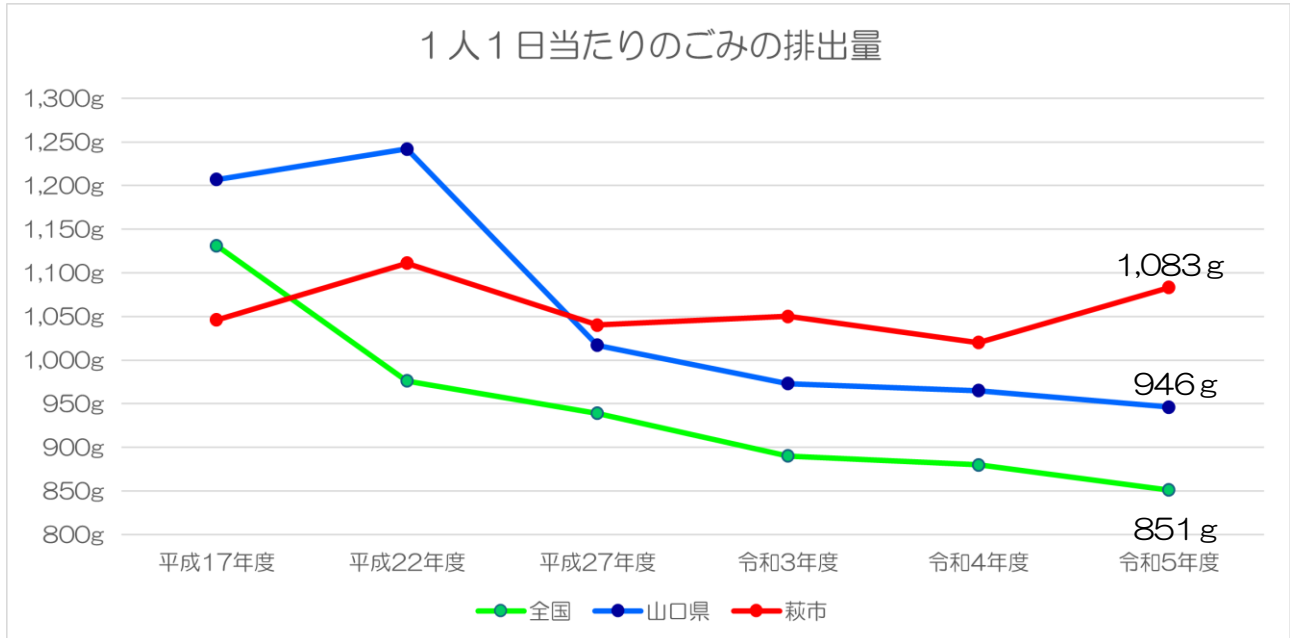
○一般廃棄物処理基本計画に掲げる施策及び見直し（案）

施策	現在の内容	見直し（案）の内容
排出抑制	ごみ処理の有料化	
	・有料指定袋収集を実施（燃やせるごみ、燃やせないごみ、プラスチック製容器包装） ・世帯人数に応じ、一定枚数のごみ袋を無料配布	・無料配布を廃止（1枚目から有料化）
	指定袋の規格変更	
	・燃やせるごみ（大）（小） ・燃やせないごみ ・プラスチック製容器包装	・燃やせるごみ（特小）の追加
	環境教育の充実	
	・萩第二リサイクルセンター（エコプラザ・萩）における各種講座やイベントの実施 ・萩エコ大使任命（小学4年生） ・3きり運動の推進	継続
	生ごみ自家用処理容器購入費補助金	
	・コンポスト容器・電動式生ごみ処理機の1世帯当たり購入費2分の1を補助	継続

施策	現在の内容	見直し（案）の内容
再資源化の 推進	集団回収への助成金交付	
	・営利を目的としない団体の集団回収活動に対し助成金を交付	継続
	高度分別収集	
	・18 分別回収の実施	継続
	事業系可燃ごみの再生利用	
	・事業系可燃ごみからトイレトペーパーを作製・使用	継続
その他	ステーション設置補助	
	・ごみステーションを設置する町内会を補助	継続
	萩市環境美化週間の設定	
	・環境美化週間セレモニーの開催 ・河川海岸一斉清掃等の実施	継続
	きれいな萩・おまかせいど（萩市版アダプトプログラム）の実施	
	・団体、個人が本制度に登録しボランティア清掃活動を展開。市は登録者に対し傷害保険の適用・ごみ袋の配布・ごみ収集を実施	継続
	漂流・漂着ごみ一掃事業	
	・海岸漂着物等地域対策推進事業を活用し、漂着したごみの収集・運搬・処分を実施	継続
	子育て支援事業	
	・子育て世帯を対象に、燃やせるごみ袋の無償交付（50 枚）を実施	継続
	SNS を活用した情報の提供	
	・萩市総合アプリ「はぎなび」によるごみ収集情報、ごみ分別検索	継続
		〈新規〉 家族介護者支援事業 ・萩市家族介護用品支給対象者等にごみ袋の引換券を支給

1. 現状と課題

グラフ1



※環境省『一般廃棄物処理実態調査』から

1.萩市は「1人1日当たりのごみの排出量」が、全国や山口県平均に比べて多い。

2.自治会から現状の見直しを求める声が寄せられている。

- ・無料配布にかかる、ごみ袋の仕分け作業や各家庭への配布作業が負担。
- ・個人情報の取り扱いなど。

【無料配布の目的】 市内全世帯へ世帯人数に応じて指定ごみ袋を無料配布し、出されるごみの量が無料配布枚数を超えた場合のみ、指定ごみ袋を追加購入していただく超過量有料方式を、萩市独自の施策としてごみの減量化を進めてきました。

2. 自治会や審議会等の意見

- ・令和6年萩市議会 12 月定例会の全員協議会以降、各地域の行政推進員集会等で、ごみの減量化に関する意見を伺った。
- ・自治会連合会、各地域の行政推進員集会、萩市快適環境づくり推進協議会、出前講座、萩市廃棄物減量及び地域美化推進審議会、窓口等

■主な意見

1.ごみ袋の無料配布について

- ・自治会では役員が高齢化し、引き受け手が少なくなり、ごみ袋の無料配布の袋の仕分けや各家庭への配布作業が負担となっている。今後継続することが難しい。
- ・留守宅への再配達の手間や、表札がない家へのごみ袋を届けることが難しい。
- ・無料配布を見直し、価格を下げてほしい。

⇒ごみ袋の無料配布を見直し、ごみ袋の価格を下げてほしい。

2.ごみ袋のサイズについて

- ・おむつ、生ごみなど匂い等の関係で早く捨てたい。
- ・1人～2人暮らしの世帯にとって、大きい袋は使いづらい。

⇒小さいサイズの袋を追加してほしい。

3. 新しいごみの減量化施策について（方針案）

（１）無料配布の廃止

（２）手数料（ごみ袋の価格）の見直し 4月～

- ・【新】１枚目から有料とする一方、安価にする。１枚 50 円⇒30 円（燃やせる大・プラスチック製容器包装・燃やせない・収集券）、１枚 30 円⇒20 円（燃やせる小）

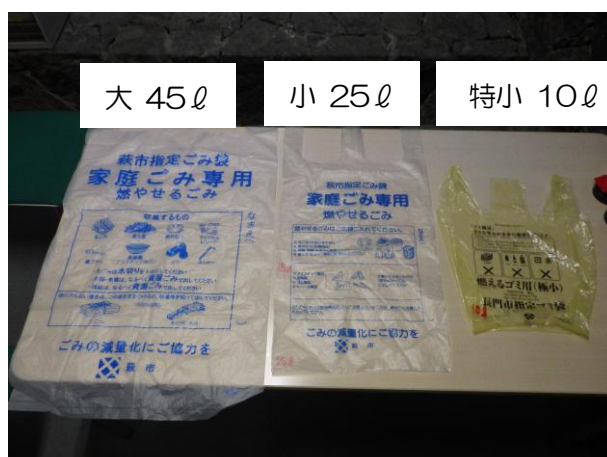
（３）小さいサイズの燃やせるごみ袋【特小】の導入 5月～

- ・【新】市民から要望のある「生ごみやおむつを出すためなど、今より小さいサイズの袋」《特小》（１枚 10 円、ガゼット、取っ手付）を作成し、燃やせるごみのサイズを３種類とする。

ごみ袋《特小》イメージ



ごみ袋 大きさの比較



（４）市民への負担軽減（家族介護や買い物困難者等） 4月～

- ・【新】家族介護用品支給対象者に燃やせるごみ袋引換券を支給することで、介護で介護用おむつなど多くのごみを出す方の負担軽減を図る（県内初の取組）。高齢者支援課と連携
- ・【新】交通手段が十分でない方へ、移動販売車や訪問介護事業者の販売を検討。
- ・【継続】子育て世帯（紙おむつ等使用する新生児）への無償交付

（５）生ごみ削減の強力支援、「３きり運動」の推進 4月～

食べきり・使いきり・水きりの「３きり運動」や、4R（リデュース、リユース、リサイクル、リフューズ）、環境教育の充実などを通じて、ごみの減量化を目指す。

4. 今後のスケジュールについて（案）

時 期		内 容
6年度	11月 12月	萩市廃棄物減量及び地域美化推進審議会 12月議会全員協議会にて説明 自治会連合会にて説明
7年度	4～6月 7月 9月 9～10月 11月 12月 3月	行政推進員集会、快適環境づくり推進協議会にて説明 萩市廃棄物減量及び地域美化推進審議会（第1回） 萩市議会9月定例会（全員協議会） パブリックコメント 萩市廃棄物減量及び地域美化推進審議会（第2回） 萩市議会12月定例会（条例改正、補正予算） 市民への周知（HP、市報等） ごみ袋販売店へ説明 販売店の在庫入れ替え対応
8年度	4月～ 5月～	新規減量化施策開始 ・指定ごみ袋を新価格で販売開始 ・家族介護用品支給対象者に燃やせるごみ袋引換券を配布 ・燃やせるごみ袋（特小）販売

現行

案

区分			手数料	区分	手数料	
燃やせるごみ	家庭廃棄物	市長が別に定める量以内の場合	無料	燃やせるごみ	家庭廃棄物	大30円 （袋、収集券）
		市長が別に定める量を超える場合	市長が定めるごみ袋（第7条第3項に規定するごみ袋をいう。以下同じ。）大及びごみ収集券1枚につき50円			小20円
			市長が定めるごみ袋小1枚につき30円			特小10円
	事業系一般廃棄物	市長が定めるごみ袋1枚につき100円	事業系一般廃棄物	変更なし		
プラスチック製容器包装	市長が別に定める量以内の場合	無料	プラスチック製容器包装	30円		
	市長が別に定める量を超える場合	市長が定めるごみ袋1枚につき50円				
燃やせないごみ			市長が定めるごみ袋及びごみ収集券1枚につき50円	燃やせないごみ	30円 （袋、収集券）	
大型ごみ			1個につき520円　同時に2個以上収集及び運搬するときは、2個目からは1個につき310円を加算する。	大型ごみ	変更なし	